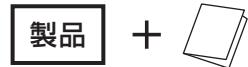


取扱説明書

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人に譲り渡す場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



DUAL GAUGE RS

OBDタイプ

ホワイト照明 オレンジ照明

DRX-B / DRX-BO

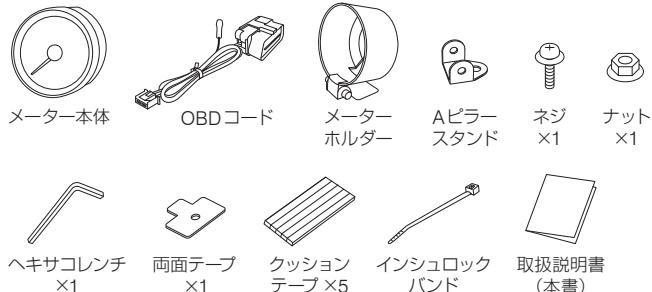
DRX-T

ブースト + デジタル
エンジン回転 + デジタル

目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
各部の名称と表示の種類	2
配線接続方法	2
製品の固定	2~3
基本操作方法	3
表示の切り替え方法	3
ピーク値の表示とリセット	3
照明の明るさ調整	3
故障かな?と思ったら	4
(別売ブーストセンサー装着方法)	4

内容物をご確認ください



- ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、
対応車でも適正表示しない場合があります。(センサー接続時を除く)
- 故障診断コネクターを利用する他社の製品とは併用できません。

● PIVOT製OBD装着製品の併用について
については、こちらをご確認ください。
<https://pivotjp.com/obd/>



⚠ 警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う可能性があります。

● 換気の悪い場所で作業しない

排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。

● コードの被ふくを傷付けない

ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車両破損の危険があります。

● 運転中に操作をしない

運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。

● 製品固定や配線処理は確実に行う

製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

⚠ 注意

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、
製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

● DC12V車で使用する

本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。

● 装着直後は製品に強い力を加えない

両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。

● 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない

故障の原因となります。

● 薬品類は使用しない

ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。

● ネジ・部品は元の状態に戻す ● まぶしく感じる場所には装着しない

● 加工・分解および改造をしない

特長

コスパと装着性に優れた次世代ゲージ。ユニット不要、サブコンにも高精度、OBDへ簡単装着。

変化を読み取りやすい指針表示と、細かな変化がわかるデジタル表示に特性に応じた複数表示と、メーター部のみで別ユニットも不要とすることで更に簡単な装着ができます。DRX-B / BOはサブコン使用時には別売センサーを装着することでより高精度な計測も行えます。

デュアル表示

指針表示とデジタル表示に複数のデータを見やすく表示。

3段調光の照明

照明は便利な3段階の照度調光機能。

ブラックベゼル

窓ガラスへの映り込みや外光の乱反射を抑える艶消しブラックベゼルを採用。

メーター ホルダーを付属

メーターを様々な場所に両面テープなどで簡単に設置できるフルカバータイプのメーター ホルダーを付属。

ピークホールド

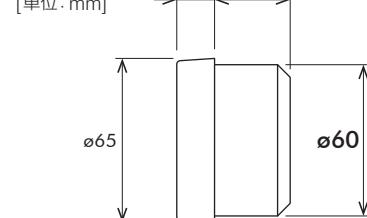
エンジン始動後のピークホールド値を表示可能。

新しいオープニング動作

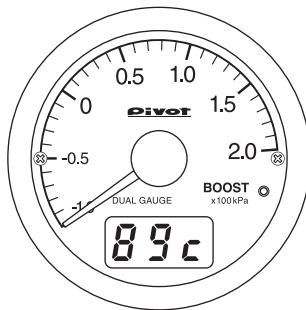
エンジン始動時のオープニング動作は、従来品の3.5秒から1.5秒に短縮。

サイズ

[単位: mm]



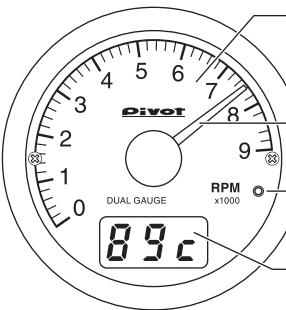
各部の名称と表示の種類



ブースト計 DRX-B / DRX-BO

ブースト圧 表示範囲
-100~154 kPa (OBD)
-100~200 kPa (センサー^{※1})

*1 別売ブーストセンサー「XBS」装着時。
装着方法は4ページ参照。



タコメーター DRX-T

エンジン回転 表示範囲
0~9000 rpm

- アナログ表示部

データを表示

表示中イルミは常時点灯(3段階調)

数值や

デジタル部の表示切り替え

DRX-B / DRX-T
ホワイト照明 (文字・針)
DRX-BO
オレンジ照明 (文字・針)

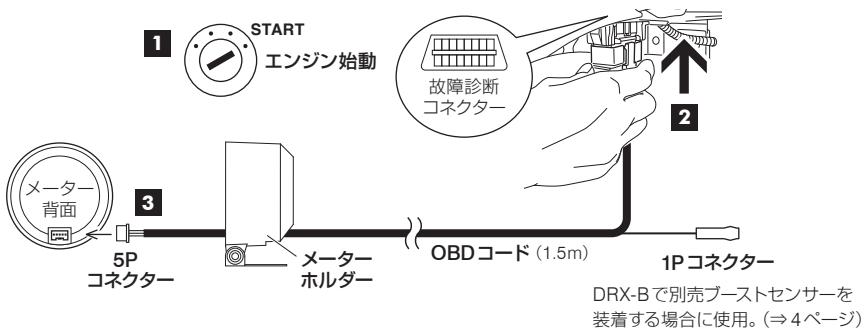
デジタル表示部

下記の4種類を切り替え表示(一部車種を除く)

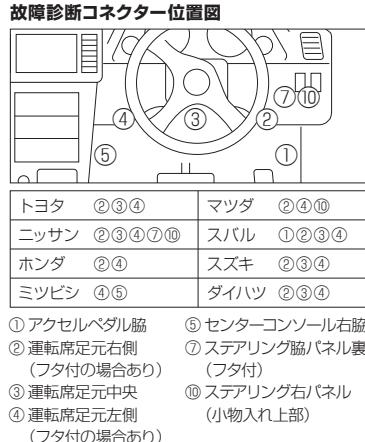
表示項目	表示範囲	用途
水温	-35～150 °C	オーバーヒート防止 低温(60°C以下)時の高回転注意
吸気温	-9～99 °C	高温時のパワー低下 クリーナーによる冷却効果の確認
スピード	0～255 km/h	走行速度と最高速度の確認 速度超過防止
電圧	8.0～18.0 V	充電・バッテリートラブル防止

配線接続方法

- 1 エンジンを始動する。
 - 2 OBDコネクターを故障診断コネクターに差し込む。
 - 3 5Pコネクターをメーター背面に差し込む。



OBDコネクター取扱時の注意点



製品の固定

メーター・ホルダーを使用する場合

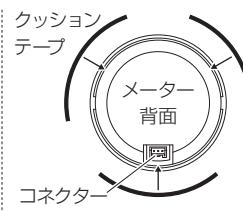
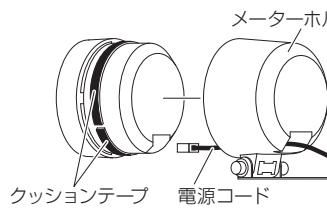
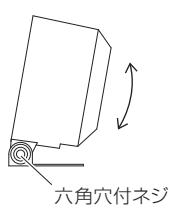
強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

- 1** メーターholdderを両面テープで固定する。

 - 2** ネジを少しづつねじるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。
 - 3** メーターにクッションテープを貼り、電源コードを接続しメーターholdderに差し込む。
※抜けやすい場合はクッションテープを追加してください。

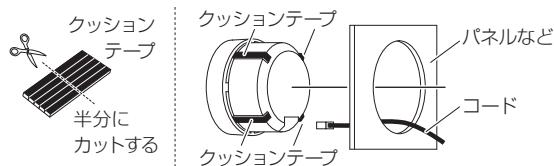


* 粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。



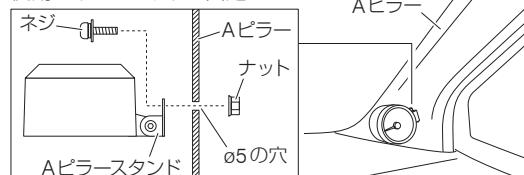
パネルなどに埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、コードを接続しパネルなどに差し込む。



Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付ける場合

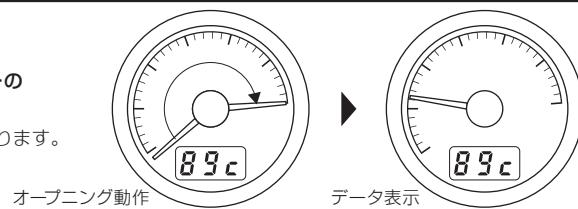
Aピラーの取り付けたい位置にø5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。



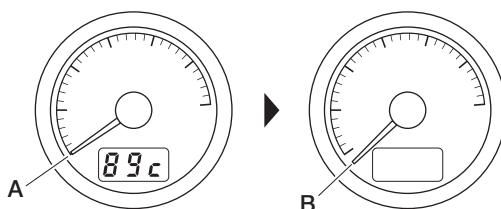
基本操作方法

- エンジン始動 ➤ 針がオープニング動作後にデータ表示。

 - ※ 始動時のオープニング動作はステッピングモーターの針位置設定に必要な動作です。
 - ※ 車輌との通信上、動作開始まで数秒かかる場合があります。
 - ※ コネクター装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。 オープ



- エンジン停止 ➤ 針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にBへ移動。
※車種によっては消灯まで1分程度かかる場合があります。



表示の切り替え方法

デジタル表示の切り換え

メーター作動中、スイッチを押すごとに切り換わる車種により表示項目が異なります。(対応車表参照)

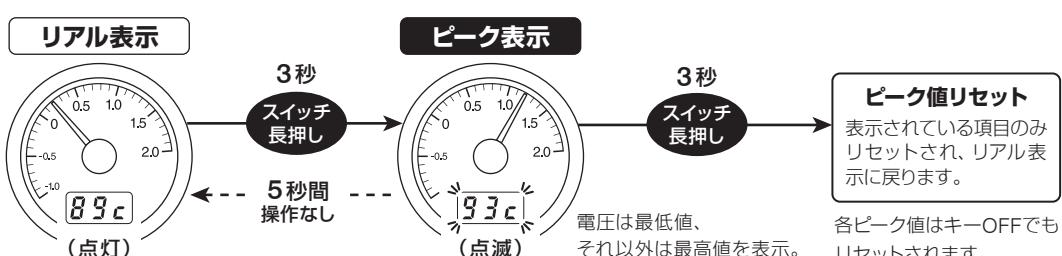


水温の見かた		
-35 ~ -1°C	0 ~ 99°C	100 ~ 150°C
- 		

左の7セグが - (マイナス) 右の7セグが C 数値のみの表示

吸気温の見かた	
-9 ~ -1°C	0 ~ 99°C
 左の7セグが - (マイナス) 右の7セグが C.	 右の7セグが C.

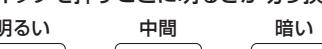
ピーク値の表示とリセット



照明の明るさ調整

ドアミラーなどに照明が反射し気になる場合などの調整

- 1**  **スイッチ
6秒長押し**
メーター動作中に
スイッチを長押しします
 - 2** **3秒後にピーク値、
6秒後に現在の
明るさを表示**

(例 = L-3)
 - 3** 
現在の設定が
表示されたら
スイッチをはなす
 - 4**  **スイッチを押すごとに明るさが切り換る**

明るい 中間 暗い
L - 3 → L - 2 → L - 1
 - 5**  **設定を合わせたら
スイッチをはなす**
 - 6**  **5秒間操作なしで
通常表示に戻る** ➡ **設定完了**

故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
エンジン始動で動作しない。	5Pコネクター OBDコネクター の接続不良。	再度ご確認ください。
	対応外の車種に取り付けている。	対応車種表をご確認ください。
始動時に切り換えたデジタル表示から始まらない。	デジタル表示切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。 3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニング動作前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズレる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	

別売ブーストセンサー装着方法 (DRX-B / BO) ブースト圧を車輛センサーではなく、別売センサー(相対圧)により計測する場合。

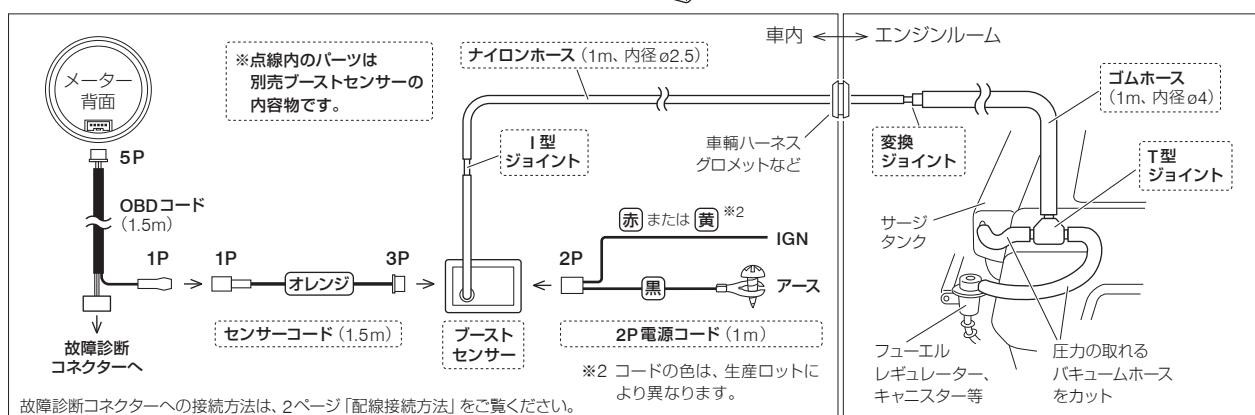
⚠ 安全のため、配線作業時はバッテリーの \ominus 端子を外してください。

DRX-B / BO は別売センサーを追加することで、
サブコン使用時や相対圧による高精度な計測が可能です。



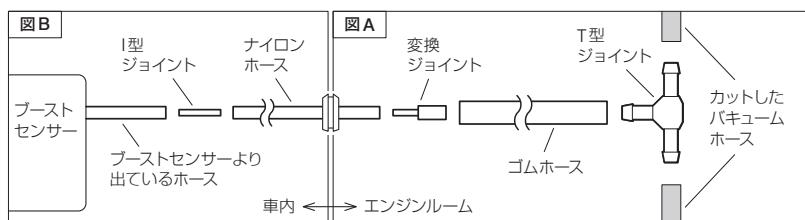
装着時に準備する道具と材料

- ・ニッパー
- ・圧着ペンチ
- ・絶縁テープ
- ・レンチ
- など



ブースト配管

- ① エンジルームで、サージタンクやインテークマニホールドから直接出でていて、圧力の取れるバキュームホースをカットする。(例: フューエルレギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- ② T型ジョイントを割り込みせ、図Aを参考に、各ホースとジョイントを接続する。
- ③ ナイロンホースを車輛ハーネスグロメットなどを利用して車内へ引き込む。
- ④ 引き込んだナイロンホースとユニットのホースをI型ジョイントを使用して接続する。(図B)



IGN 赤 または 黄 ※2

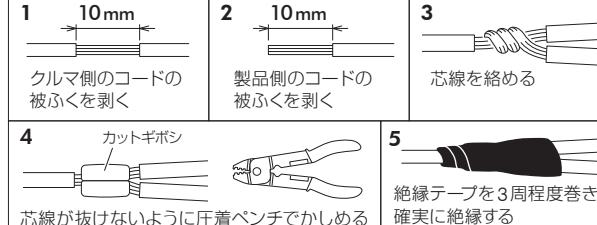
キースイッチONで+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。
(常時・ACC不可)

※2 コードの色は、生産ロットにより異なります。

アース 黒 アース端子付

アースが取れる金属部のネジに固定する。
プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

[参考] カットギボシの使い方



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。

※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。

※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。